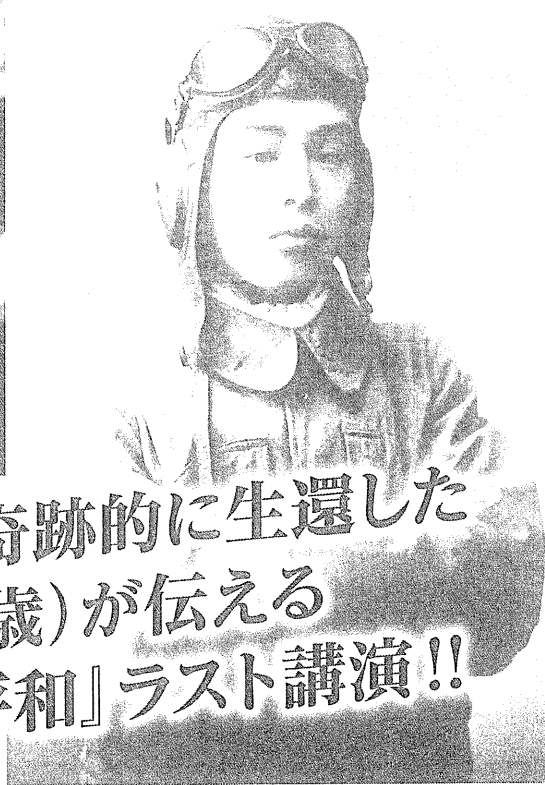


講演

『特攻の真実と平和』

申込受付順  
先着500名  
入場無料

“特攻の母”として多くの  
特攻隊員に親われた  
鳥濱トメさんと板津氏(左)



特攻隊員として奇跡的に生還した  
板津忠正氏(89歳)が伝える  
『特攻の真実と平和』ラスト講演!!

日時

平成26年10月18日(土) 17:00~19:00 (16:30受付)

場所

甲府市総合市民会館芸術ホール(甲府市青沼3-5-44)

事務局

いのちの授業実行委員会(甲府青年会議所内)  
〒400-0858 山梨県甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所会館3階

TEL 055-235-5423

E-Mail office@kofujc.com

※申し込み方法については裏面をご覧ください。

## 『特攻の真実と平和』

主催者挨拶

いのちの授業実行委員会 塩澤清司

太平洋戦争末期、多くの若者が特攻隊員として知覧基地から飛び立っていったが、彼らは何を考え、何を願い、何のために命を捧げたのか。板津忠正さんが自らの体験をもとに特攻隊員の心情や素顔、特攻隊員から母と慕われた鳥濱トメさんとの思い出や、どんな思いで特攻隊仲間の遺影を集め、知覧平和記念会館建設に至ったのかを語ってくださいます。板津忠正氏は御歳 89 歳。日本全国で数々の講演会を行ってきましたが、今回の講演会がラスト講演となります。戦地に赴き、死を覚悟した者だけが語れるいのちの尊さを是非お聞きください。

## 板津忠正氏 プロフィール

1925年(大正14年)1月25日	愛知県名古屋市昭和区生まれ
1943年(昭和18年)10月	民間パイロット養成機関である通信省米子航空機乗員養成所に入所。大刀洗陸軍飛行学校を卒業後台湾へ。
1944年(昭和19年)12月	台湾潮州の教育隊を経て兵庫県加古川飛行場に転属。
1945年(昭和20年)	陸軍特別攻撃隊員となり、同年5月28日に陸軍特攻第二一三振武隊として沖縄作戦に97式戦闘機で出撃したが、途中エンジントラブルにより徳之島海岸に不時着し、知覧に帰還。その後2回の出撃命令が出るが、雨のため中止となり終戦を向かう。板津さんは「自分に命が永らえたのは自分にしかできない何かがあるからだ」との強い思いを抱く。
1946年(昭和21年)	名古屋市役所に就職。勤めながら、特攻で亡くなった多くの仲間の遺族を探し出し、特攻慰霊とともに当時の状況を遺族に説明する。
1973年(昭和49年)	復員局業務部が作成した特攻隊戦没者芳名簿を入手。これを機に、隊員の遺族や親類を捜し出して墓参し、名簿の確認や資料収集を始める。
1979年(昭和54年)	定年を前に名古屋市役所(計画局計画課長)を退職。本格的に特攻慰霊・資料収集に専念、全国を行脚する。
1984年(昭和59年)	要請を受け財団法人知覧特攻平和会館(通称:遺品館)の事務局長に就任。来館者に特攻出撃時の様子を説明する。
1986年(昭和61年)	知覧特攻平和会館の新館建設と同時に初代館長に就任。
1988年(昭和63年)	6月30日特攻で亡くなった全ての方の資料を収集するために退職。知覧特攻平和会館顧問に就任。そのかわり『特攻の真実と平和』と題して講演活動を行う。
1995年(平成7年)	特攻で亡くなった戦没者千三十六名の遺影全員分を集める。
2014年(平成26年)	現在 89 歳。

## 応募方法

下記の講演会参加申込書に①氏名②住所③電話番号④FAX番号⑤メールアドレスをご記入の上、FAXまたはメールをお送りください。受付後こちらより連絡をさせていただきます。なお、申し込み締め切りは10月15日(水)17時とさせていただきます。

## 講演会参加申込書

氏名	〒	—	住所
TEL	—	—	E-Mail
FAX	—	—	
携帯	—	—	
			@

※応募者の個人情報は、当事業のみに利用しそれ以外の目的には利用いたしません。

FAX 055-226-9596 E-Mail office@kofujc.com